

環境学習コーディネート実施概要（Web 掲載）

依頼No	7	事例No	4	依頼者	ふそう災害ボランティアセンターの会	実施場所	社会福祉法人扶桑町 社会福祉協議会
実施対象	ふそうボランティアセンターの会の会員 15名						
実施日時	令和6年8月3日（土） 10:00～11:00						
テーマ	地球温暖化による自然災害についての学習						

●依頼内容

地球温暖化の原因や温暖化による自然災害と、市民ができる対策について学び、会員のスキルアップにつなげるための学習会の講師を紹介してほしい

●講師：村瀬政彦 氏（愛知県地球温暖化防止活動推進員、あいち eco ティーチャー）

村瀬政彦氏は、ごみ・資源循環・3R、エネルギー問題などを専門とされ、愛知県地球温暖化防止活動推進員であるとともに、「あいち地球温暖化対策人材登録・紹介ネット（温暖化まなびネット）」、「あいち eco ティーチャー」にも登録されている。

●授業の内容

講義	講師の自己紹介の後、パワーポイントを使って授業が行われた。はじめに、「最近、地球が暑くてクマっています。」という本を使って、地球温暖化がいかに深刻になってきているか、そして、その解決のためには家庭の節電だけでは間に合わず、CO2を排出しない発電方法に転換することや国境や人種を超えた取組が必要であることが説明された。また、ジョン・レノンの「イマジン」の曲を流したり、アメリカの公民権運動の指導者・キング牧師の演説を紹介しながら、みんなの夢を実現するために、「ガマン」としての温暖化対策ではなく、「楽しさ」や「快適さ」をもたらす取組としての温暖化対策を進めていきましょうと呼びかけがされた。最後に、幕末の江戸を舞台にした映画「せかいのおきく」の予告動画を上映し、循環型社会のひとつの見本として江戸時代の庶民の暮らしが紹介された。	45分
質疑応答 / 意見交換	講義を受けて、質疑応答と会員同士の意見交換が行われた。講義に対しては、勉強になった、有意義であったという声の他、地球は寒冷化していくのではないかという疑問や、温暖化問題は子どもたちにもっと伝えていく必要があるといった意見が出された。	15分

●授業の様子

講義に使われた本は子どもを主な対象とした内容であるものの、地球温暖化の専門家によって書かれたものであり、平易で楽しいだけでなく、大人が温暖化問題やその解決策について学ぶことのできるまじめな内容の本である。受講者は防災ボランティアを長年務めている方々であり、自らの今後の活動の参考にしようと真剣に話を聞いていた。質疑応答・意見交換の時間も、積極的に挙手して意見を出していた。

地球温暖化の影響と解決策について学んだ。



講義の後、質疑応答と会員同士の意見交換が行われた。

